

## デンマーク

Kingdom of Denmark

	2006年	2007年	2008年
①人口：551万人（2008年）			
②面積：4万3,098km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：6万2,626米ドル （2008年）			
④実質GDP成長率（%）	3.3	1.6	0.2
⑤貿易収支（デンマーク・クローネ、財のみ）	172億8,700万	△22億8,100万	△71億7,100万
⑥経常収支（デンマーク・クローネ）	469億8,800万	119億8,800万	378億2,800万
⑦外貨準備高（米ドル）	297億2,370万	325億3,440万	404億6,580万
⑧為替レート（1米ドルにつき、 デンマーク・クローネ、期中平均）	5.94678	5.4437	5.09813

〔出所〕①②：デンマーク統計局，③⑦⑧：IMF，④：デンマーク財務省，⑤⑥：デンマーク国立銀行（中央銀行）

2008年のデンマーク経済は、2007年からの内需低迷傾向が秋以降の世界経済危機によりさらに悪化し、実質GDP成長率が0.2%と停滞した。貿易は、輸出入ともに堅調な伸びを示し、貿易収支は黒字を保っている。直接投資は、対内・対外ともに食品関連で活発な動きがみられた。対日貿易は、輸出が食品を中心に順調な一方、輸入は自動車や電気製品などが不振で減少した。

## ■景気減速傾向続く

不動産担保ローンの導入と減税に伴う消費ブームから2004年から好況が続いていたデンマーク経済は、2007年に入ると減税効果が薄れ、不動産価格も下落して、個人消費意欲が減退し、景気減速に転じた。2008年に入っても減速傾向は改善されず、秋の金融危機と相まって停滞が顕著となった。2008年の実質GDP成長率は0.2%と通年ではかろうじてプラス成長を維持したが、景気は時を経るごとに悪化し、第4四半期には前年同期比マイナス3.7%まで落ち込んだ。雇用への波及は遅く、2008年の失業率は34年間で過去最低の2.4%を記録した。失業率は2009年1月には3.7%に急上昇している。

金融危機への対応としては、2008年10月に350億デンマーク・クローネ（以下、Dkr）規模の民間金融機関の出資による救済基金が創設され、預金の全額保護措置が取られた。デンマーク国立銀行が2009年3月に発表した経済見通しでは、2009年の実質GDP成長率をマイナス1.1%と予想している。

## ■貿易は順調

2008年の貿易は、輸出が前年比6.5%増の5,870億3,400万Dkr、輸入は、5.9%増の5,629億8,700万Dkrとなった。貿易収支は、240億4,700万Dkrの黒字で、黒字幅は前年の195億400万Dkrから大幅に拡大した。

輸出を品目別にみると、最大の品目は、前年と同様機械類で5.1%増と順調な伸びを示し、輸出全体の26.8%を占めた。好調だったのは風力発電に代表される発電機、

表1 デンマークの主要品目別輸出入

(単位：100万Dkr, %)

	輸 出				輸 入			
	2007年	2008年		2007年	2008年		伸び率	
	金額	金額	構成比	金額	金額	構成比		
食 料 品	87,556	92,653	15.8	5.8	50,215	55,911	9.9	11.3
肉・同調製品	28,643	29,931	5.1	4.5	7,284	8,127	1.4	11.6
原 材 料	20,214	20,500	3.5	1.4	15,873	15,772	2.8	△0.6
鉱 物 性 燃 料	57,274	67,525	11.5	17.9	30,155	45,140	8.0	49.7
原油・石油製品	45,385	49,929	8.5	10.0	24,347	35,669	6.3	46.5
化 学 品	72,453	78,085	13.3	7.8	57,716	62,508	11.1	8.3
医 薬 品	39,881	41,612	7.1	4.3	16,286	18,162	3.2	11.5
原料別半製品	60,215	65,016	11.1	8.0	92,265	93,976	16.7	1.9
鉄 鋼	10,260	10,123	1.7	△1.3	23,779	23,839	4.2	0.3
非鉄金属製品	4,022	3,804	0.6	△5.4	8,719	8,154	1.4	△6.5
機 械 類	149,872	157,494	26.8	5.1	187,618	189,706	33.7	1.1
発 電 機	23,313	28,021	4.8	20.2	13,106	11,772	2.1	△10.2
一 般 機 械	41,196	43,210	7.4	4.9	28,273	31,701	5.6	12.1
通 信 機 器	15,956	11,746	2.0	△26.4	23,527	20,097	3.6	△14.6
電気・電子機器	19,121	20,501	3.5	7.2	26,955	27,180	4.8	0.8
道路輸送用機器	15,033	15,314	2.6	1.9	44,579	42,255	7.5	△5.2
その他輸送用機器	5,343	8,795	1.5	64.6	11,452	18,136	3.2	58.4
複 製 品	87,629	87,831	15.0	0.2	82,084	84,352	15.0	2.8
家 具 ・ 同 部 品	15,895	14,100	2.4	△11.3	9,160	9,064	1.6	△1.0
合 計	551,296	587,034	100.0	6.5	531,792	562,987	100.0	5.9

〔注〕表2とも、EU域外貿易は輸出（FOB）、輸入（CIF）ともに通関ベース、域内貿易はインボイスベース。

〔出所〕表2, 7とも、デンマーク統計局。

表2 デンマークの主要国・地域別輸出入

(単位：100万Dkr, %)

	輸 出				輸 入			
	2007年		2008年		2007年		2008年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU 27	379,073	401,972	68.5	6.0	391,134	408,131	72.5	4.3
ユーロ圏	223,036	235,247	40.1	5.5	258,104	264,391	47.0	2.4
ドイツ	91,901	102,844	17.5	11.9	115,839	119,360	21.2	3.0
オランダ	25,093	25,971	4.4	3.5	36,121	38,341	6.8	6.1
フランス	24,875	26,232	4.5	5.5	21,737	21,093	3.7	△3.0
イタリア	18,217	18,123	3.1	△0.5	21,976	22,056	3.9	0.4
非ユーロ圏	156,037	166,725	28.4	6.8	133,030	143,739	25.5	8.1
スウェーデン	80,892	85,643	14.6	5.9	76,494	79,952	14.2	4.5
英国	43,905	49,104	8.4	11.8	27,236	29,278	5.2	7.5
ポーランド	12,698	14,220	2.4	12.0	13,385	15,524	2.8	16.0
トルコ	3,189	4,301	0.7	34.9	5,590	5,381	1.0	△3.7
ノルウェー	33,026	35,246	6.0	6.7	22,445	26,507	4.7	18.1
ロシア	10,532	11,126	1.9	5.6	7,928	9,736	1.7	22.8
米国	34,935	32,341	5.5	△7.4	18,500	17,997	3.2	△2.7
中国	9,673	11,216	1.9	16.0	29,974	32,977	5.9	10.0
インド	1,983	2,772	0.5	39.8	3,792	3,598	0.6	△5.1
韓国	3,798	3,870	0.7	1.9	3,065	2,736	0.5	△10.7
日本	10,334	11,463	2.0	10.9	3,928	3,384	0.6	△13.8
合計	551,296	587,034	100.0	6.5	531,793	562,987	100.0	5.9

船舶が増加した「その他輸送用機器」で、それぞれ20.2%増、64.6%増と大幅な伸びとなった。一方、通信機器は26.4%減と前年の18.2%減に続き不振だった。通信機器の減少は、世界的な消費の低迷による需要減も一因だが、携帯電話用端末機卸では欧州最大手のダンガード・テレコムが2007年に米国ブライトポイントに買収されたことにより、デンマークを仲介しないで携帯電話の取引が行われるようになった影響も大きいとみられる。また、鉱物性燃料（構成比11.5%）が、原油・天然ガス価格上昇のため17.9%増と大幅な伸びとなった。

国・地域別にみると、EU27が6.0%増で全体の68.5%を占めた。国別では、全体の17.5%を占める首位のドイツ向けが、肉・同調製品や風力発電機などが大幅に増加し、伸び率は11.9%増となった。続いてスウェーデン向け（構成比14.6%）が5.9%増、以下、英国向け（8.4%）は11.8%増、フランス向け（4.5%）5.5%増、オランダ向け（4.4%）は3.5%増と続く。EU域外で最大の輸出先である米国向け（5.5%）は景気低迷により、風力発電機などの大型輸出品と医薬品が大幅に落ち込み、7.4%減となった。

輸入を品目別にみると、最大品目は機械類（構成比33.7%）で1.1%増にとどまった。機械類の中で最大の品目である自動車など道路輸送用機器（構成比7.5%）が消費の低迷から5.2%減となったほか、輸出と同様の理由で通信機器（3.6%）も14.6%減と不振だった。好調だったのは一般機械（5.6%）で12.1%増、船舶など「その他輸送用機器」（3.2%）が58.4%増でほかの不振を補った。ま

た、原油高から原油・石油製品（6.3%）が46.5%増と大幅な伸びとなった。

国・地域別にみると、輸出同様、最大の輸入元はEU27（構成比72.5%）で、4.3%増と堅調だった。国別では輸入全体の21.2%を占めるドイツが最大で3.0%増だった。次がスウェーデン14.2%で4.5%増だった。両国とも最大の品目は自動車など道路輸送用機器で、それぞれ輸入の12.8%、10.4%を占めているが、いずれも5.0%減、5.8%減と不振だった。3位はオランダ（6.8%）の6.1%増で、コンピュータから食品まで多

岐にわたる。2008年はこのほか原油・石油製品の輸入元であるノルウェー、ロシアが、18.1%増、22.8%増と大幅な伸びを示した。

### ■ 直接投資は回復基調

2008年の対内直接投資（実行ベース、ネット、フロー）は、506億Dkrで、前年の522億Dkrから減少したものの高水準を維持した。

業種別にみると、食品が257億Dkrと活発な投資活動が行われた。金融・関連サービス分野も129億Dkrと前年を下回るものの依然活発だった。国・地域別では、対内投資の大半はEU27に集中している。また、最大の投資国はスウェーデンで、英国、米国がそれに続く。

2008年の大型投資案件をみると、英国のブリティッシュ・アメリカン・タバコ（たばこ）がハウス・オブ・プリンス（同）を200億Dkrで取得した案件、ドイツの砂糖製造ノルトツッカーがダニスコの砂糖部門を62億Dkrで取得すると発表した案件（買収完了は2009年）など、食品関連で目立った動きがあった。食品以外の製造業では、英国の投資会社ドーティー・ハンソンが、風力発電機のブレード製造のスベンボー・ブレイクスを34億Dkrで買収した。米国のイーベイも、デンマークのオークション企業デン・プロ・アビスを21億Dkrで取得した。

2008年の対外直接投資額は、1,371億Dkrで、好調だった2005年（1,036億Dkr）を超え、史上最高額になった。国・地域別にみると、伸び率はスウェーデンが最大で、前年引き上げ超過だったフランス、ドイツなどもプラスに

転じた。業種別にみると、対内投資同様、食品部門の活発な動きが目立つ。食品部門の投資額は717億Dkrに上り、前年の35億Dkrの引き揚げ超過から大きく躍進した。

2008年の最大の対外投資案件で、デンマーク史上最大

の投資事例となったのは1月にカールスバーグ（ビール醸造）がオランダのハイネケン（同）と共同で英国のスコティッシュ・アンド・ニューカッスル（同）を582億Dkrで購入した案件だ。同社は、同時にスコティッシュ

傘下でバルト三国で事業を展開するバルティック・ビバレッジ・ホールディングス（同）の未取得株式50%を獲得し完全子会社化した。成長性が高いロシア、ウクライナ、バルト三国でのプレゼンス強化が狙いだ。食品部門では、デンマーク最大の乳製品企業であるアーラが2008年8月にフィンランドで市場シェア2位のイングマン・フーズの未取得株式70%を取得し、完全子会社化した案件が挙げられる。同社は2009年に入っても積極的に対外投資を進めており、3月に米国オハイオのグリーン・メド・フーズから工場を買収し、チーズ関連製品の共同開発の提携を結んだほか、オランダの乳製品市場で3割のシェアを持つロイヤル・フリースランド・フレッシュを買収した（5月に欧州委員会およびオランダ競争庁によって承認）。農業関連では、飼料製造・販売を行うデンマークDLGとスウェーデンのランドメンの合弁会社を買収したドイツの子会社ハゲが、競合相手のBSL（飼料）を買収した。これにより、同社は欧州最大の農業関連製品の供給元となった。そのほかの事例としてはDSV（運輸）が、ベルギーのABXロジスティックス（運輸）を59億Dkrで買収、A.P.モラー・マースク（海運）がスウェーデンのブローストレーム（海運）を約360億Dkrで買収（買収完了は2009年2月）した。

撤退事例としては、A.P.モラー・マースクが、経済危機による需要の減少から中国広州に保有するサービスセンターの閉鎖、700人の解雇を発表した。

表3 デンマークの業種別直接投資<実行ベース、ネット、フロー>

(単位：100万Dkr, %)

	対内投資		対外投資	
	2007年	2008年	2007年	2008年
農業・水産業・鉱業	1,900	△5,300	4,900	5,200
製造業	3,300	28,100	11,600	95,700
食品	400	25,700	△3,500	71,700
石油関連製品	△1,300	△400	8,000	9,200
金属製品	2,700	1,500	2,200	5,800
商店・ホテル・レストラン	9,800	2,800	△10,000	8,000
運輸・通信	14,600	9,900	6,200	16,500
金融業・関連サービス	20,300	12,900	89,200	2,400
合計	52,200	50,600	97,800	137,100

[注] 表4とも、利益再投資を含む。2008年は速報値。

[出所] 表4とも、デンマーク中央銀行。

表4 デンマークの国・地域別直接投資<実行ベース、ネット、フロー>

(単位：100万Dkr, %)

	対内投資		対外投資	
	2007年	2008年	2007年	2008年
欧州	51,100	38,400	52,700	105,900
E U	42,300	42,300	18,900	110,700
ユーロ圏	10,500	3,200	9,200	55,800
ドイツ	5,000	4,500	△20,800	7,400
ベルギー	△4,100	3,500	1,500	2,000
フランス	3,300	3,500	△2,300	18,700
オランダ	7,300	1,300	3,800	7,600
イタリア	600	800	△6,200	1,400
非ユーロ圏	31,800	39,100	9,700	54,900
スウェーデン	26,600	19,700	0	42,900
英国	3,200	19,100	400	6,500
ノルウェー	5,800	△1,700	24,100	△17,300
スイス	△2,900	△5,500	8,100	8,100
ロシア	100	1,000	500	900
米国	700	9,700	12,000	17,900
アジア	△700	1,300	17,200	2,700
日本	100	△100	200	500
中国(香港と台湾を除く)	0	600	5,400	200
合計	52,200	50,600	97,800	137,100

表5 デンマークの主な対内直接投資 (M&A) 案件 (2008年)

(単位：100万Dkr)

買収・投資企業	買収企業の国籍	被買収企業	金額	時期
プリティッシュ・アメリカン・タバコ (タバコ)	英国	ハウス・オブ・プリンス (タバコ)	20,000	7月
ノルトツッカー (製糖)	ドイツ	ダニスコ (食品) の砂糖部門	6,200	*
ドーターハンソン (投資)	英国	スベンボー・ブレイクス (油圧ポンプ)	3,400	12月
テクニール (電子部品)	米国	ソニオン (音響機器)	2,250	3月
イーベイ (IT)	米国	デン・プロ・アビス	2,100	6月
ゴールドマンサックス (投資)	米国	ジェンマブ (バイオ医薬品)	n.a.	2月
ワッツインダストリー (パルプ・パイプ製造)	オランダ	Blucher メタル (パイプ、水質浄化技術)	n.a.	2月
V e t X X (医薬品)	英国	デクラ製薬 (医薬品)	640	1月
ホシザキ (業務用食器洗浄機)	日本	グラム・コマーシャル (業務用食器洗浄機)	395	9月
サンゴバン (ガラス製品)	フランス	DLH TRAE & Byg (建設資材)	n.a.	2月

[注] \* 買収完了は2009年3月。

[出所] 表6とも各社発表および各種報道資料を基にジェトロ作成。

表6 デンマークの主な対外直接投資 (M&A) 案件 (2008年)

(単位: 100万 Dkr)

買収企業	投資対象国	投資内容・被買収企業名	金額	時期
カールスバーグ (ビール醸造)	英国	スコティッシュ・アンド・ニューカッスル (ビール醸造)	58,200	1月
A. P. モラー・マースク (海運)	スウェーデン	ブローストレーム (運輸)	36,000	11月
ダニスコ (食品)	米国	アグテック (農業バイオ)	n.a.	-
アーラ (食品)	フィンランド	イングマン・フーズ (食品、残り株式70%を購入)	30,000	8月
アーラ (食品)	オランダ	フリースランド・フレッシュ (乳製品)	n.a.	7月
D S V (運輸)	ベルギー	A B X ロジスティックス (運輸)	5,900	11月
ジェンマブ (医薬品)	米国	P D L ビオファーマ (バイオ)	n.a.	6月
H. ルンドベック (医薬品)	米国	オペーション・ファーマシューティカル (医薬品)	5,200	8月
ドンクエネルギー (石油)	ノルウェー	BP PLC-Ula Oilfield	1,840	8月

表7 デンマークの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万 Dkr, %)

	輸 出 (FOB)				輸 入 (CIF)				
	2007年		2008年		2007年		2008年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
肉・同調整品	3,784	3,860	33.7	2.0	道路輸送用機器	987	481	14.2	△51.3
医薬品	2,264	2,568	22.4	13.5	測定・分析・制御機器	210	251	7.4	19.5
発電機	216	626	5.5	189.8	産業用特殊機械	208	177	5.2	△14.9
その他雑製品	530	529	4.6	△0.2	金属加工機械	138	149	4.4	8.0
一般機械	302	477	4.2	58.1	有機化学品	127	97	2.9	△23.6
測定・分析・制御機器	472	472	4.1	△0.1	精密・光学機器, 写真用器材	101	96	2.8	△5.0
魚介類	238	337	2.9	41.7	繊維製品	94	80	2.4	△15.0
乳製品	288	275	2.4	△4.6	事務用機器	88	73	2.2	△17.1
化学製品	234	258	2.2	10.4	化学製品	32	67	2.0	109.4
家具類	293	256	2.2	△12.7	金属加工品	111	67	2.0	△39.6
合計	10,334	11,463	100.0	10.9	合計	3,928	3,384	100.0	△13.9

## ■ 対日輸出は好調

2008年のデンマークの対日貿易 (通関ベース) は、輸出が前年比10.9%増の114億6,275万Dkrと好調だった一方、輸入は同13.9%減の33億8,371万Dkrとなった。

対日輸出を品目別にみると、最大品目は肉・同調整品で前年比2.0%増となり全体の33.7%を占めた。デンマークは日本にとって加工用冷凍豚肉の最大の輸入相手国であるが、近年はクローネ高、EU域内流通量の増加などにより、そのシェアは年々低下し米国、カナダ、メキシコ産に代替されている。続いて、医薬品 (構成比22.4%) が13.5%増と好調だった。これらは必需品であり、景気の影響を受けにくい。特にデンマークの医薬品輸出はノボルディスクの糖尿病薬が大半を占めており、高齢化に伴う生活習慣病患者の増加により、年々、輸出量が増えている。そのほか、発電機 (2.9倍)、魚介類 (41.7%増) などが好調だった一方、高額商品である家具類は12.7%減と不振だった。

対日輸入では機械類が63.7%を占め最大だが、前年比8.6%減と不振だった。輸入減の主因は、最大の品目である、自動車を含む道路輸送用機器 (構成比14.2%) の51.3%減という大幅な減少による。道路輸送用機器は、長年にわたり、対日輸入の最大品目であり、1998年には対

日輸入の44%を占めていたが、2008年には、14%を占めるに過ぎない。これは日本企業が欧州で現地生産を拡大したこと、デンマークの自動車取得にかかる税率が高く、関税がかからず、人件費の安い中・東欧、トルコなどで生産される車種に価格競争力があるためとみられる。デンマークの自動車販売台数は2008年には7.7%減と低迷したが、日本メーカー車の販売台数は1.0%増となっている。2008年の日本メーカー車の市場シェアも24%と2007年の22%から上昇した。道路輸送用機器の不振を補ったのが、その他輸送用機器で、タンカーの輸入が寄与し、前年の2.4倍と大幅増となった。

2008年の日本からの対内直接投資は前年の1億Dkrから1億Dkrの引き揚げ超過となった。9月にホシザキ (業務用食器洗浄機) がグラム・コマーシャル (同) を3億9,500万Dkrで買収したのが最大の案件である。一方、デンマークから日本への直接投資額は、前年の2億Dkrから5億Dkrへと拡大した。投資案件としては、6月に大手ネット投資銀行であるサクソ銀行がアジア太平洋地域の体制強化を目指し日本法人を設立したほか、11月には、大手ポンプメーカー、グルンドフォスが静岡・浜松に拠点を設立し、アジア一帯に水ビジネス等で進出する日本企業などへのサポートを開始した。